



第109号

発行所

社会福祉法人  
宮城県身体障害者  
福祉協会  
発行人/森 正義  
宮城県仙台市宮城野区  
幸町四丁目6-2  
TEL/291-1522  
印刷所/第二啓生園

### 障害福祉に関する国、宮城県の動き

常務理事 庄子 賢

皆様には穏やかな新年をお迎えることと存じます。そして、松が明けると、年度末と新年度を控えて慌ただしくされている方も多かろうと推察いたします。

さて、今回は平成30年度の下半期における障害福祉に関する情報をまとめてみました。

(1)厚労省では障害者手帳のカード化について、早期の制度設計と省令改正を目指しています。その導入の可否や時期は、個々の自治体

が選択できるとしています。これに関して県は、平成30年12月時点では国で議論されている段階であり、地方自治体に対して具体的な方針等は示されていないので、国の動向に注視している状況とのことです。(※1参照)

(2)12月3日から本県でも「ヘルプマーク」が導入され、市町村や福

祉団体に配布を開始しました。(身障みやぎ第108号、※2参照)

(3)12月4日の県議会にて村井知事は、障害者への理解を深め、障害を理由とする差別解消を目指す県条例の制定に向けた検討を始める意向を示しました。(※3参照)

これに関する今後の流れとして、障害当事者を含む多様な県民意見を反映するために、障害者団体の意見聴取や県内7圏域でのタウンミーティングを経て、障害者施策推進協議会で素案を作成し、31年度以降には、関係団体からの再度の意見聴取やパブリックコメントでの意見聴取を経て最終案をまとめる計画です。

(4)また、村井知事は同議会で、中央省庁の障害者雇用率の水増し問題にも触れ、法定雇用率の2.5%に対して、今年6月1日現在で県知

事部局が2.68%、県警2.75%で上回っているが、県教委では法定2.4%に対して2.31%で下回っていることを報告しました。

併せて、教員採用試験に関して、2019年度の障害者特別選考の募集要項の「自力で通勤できる」という条件を外す方向で県教委が検討していることも話しています。

(5)12月17日の県議会における県の指定管理施設(宮城県障害者福祉センター・宮城県障害者総合体育センター)の指定管理者の指定において、本会が可決されました。指定管理期間は5年間です。

#### ※1 「障害者手帳のカード化」

身体障害者手帳と精神障害者保健福祉手帳は、大きくて持ち運びが不便であるため、カード化を求める声が当事者から出ています。マイナンバー制度の導入や時代の流れを鑑みて、国はカード化の検討に着手しました。

案では運転免許証と同サイズを想定しています。また、検討の論点には、現行の手帳型の方が記載内容が外から見えにくい等の利点があるため、当事者が手帳型かカード型かを選択できる仕組み、他

を検討することになっています。

なお、療育手帳については現行制度でカード化が可能であり、一部の自治体で導入されています。

#### ※2 「ヘルプマーク」

内部障害や難病他、外見からはわかりにくい困難を抱える人への配慮と支援を、周囲の人々に促すためのマークです。

8cm×5cmの赤地に、白十字とハートのマークがついて目につきやすい物で、障害のある人や妊婦等で申し出をした方に無料配布されています。

#### ※3 「障害者差別解消に関する条例」

平成28年4月1日に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」(障害者差別解消法)が施行され、「差別的取扱い」が禁止され、「合理的配慮の提供」をおこなうことになりました。

これと同時に、日身連や障害関係団体からは、各地方自治体における条例づくりが求められてきました。その理由は、障害のある人の権利を救済するシステムは、地域の実情にあった実効性のあるものでなければならぬからです。現在、30都道府県で条例が制定されています。



社会参加推進センター事業  
第6回 宮城県障害者パークゴルフ交流大会

穏やかな天気恵まれた平成30年10月4日に、おおひら万葉パークゴルフ場を会場に第6回大会が開催されました。

開会式では、地元大衡村の萩原達雄村長、会場を運営する磐万葉まちづくりセンター代表取締役の伊藤俊幸様にご臨席を賜り、ご挨拶をいただきました。また、萩原村長には始球式もおこなっていただき、盛会に開会いたしました。

本大会は毎年レベルアップしており、今年の参加者67名の約半数がマイクラブ持参の経験者でした。しかし、初心者でも十分に楽しめる気軽なスポーツです。初心者大歓迎で、次回も多くの方のご参加をお待ちしております。

【男性の部】

優勝 齋藤 實 様 (加美町)

【女性の部】

優勝 大友かつ子 様 (大崎市)



大衡村 萩原達雄村長



楽しい中にも真剣勝負！

全スポ大会  
マスコットの  
「はぴりゅう」



入場行進を待つ宮城県選手団

社会参加推進センター事業  
第18回 全国障害者スポーツ大会

平成30年10月13日(土)〜15日(月)の3日間にわたり、福井県において全国障害者スポーツ大会が開催されました。

この大会は、13競技と3つのオープン競技が実施され、全国から67選手団、およそ4,900人が参加いたしました。

福井しあわせ大会

宮城県選手団のメダル総数は合計31個。その内、身体の選手は12個を獲得しました。また、陸上競技において、大会新記録を3個、大会記録を1個、樹立する活躍でした。応援、ありがとうございました！

競技	市町村	選手氏名	種 目	順位
陸上	大河原町	半 沢 竜 太	1500m	2
			50m	1
	大崎市	村 野 雄 志	砲丸投	—
			50m	—
	栗原市	鈴 木 満美子	砲丸投	1
			ソフトボール投	1
	岩沼市	齋 藤 亜 美	100m	—
			立幅跳	—
	柴田町	遠 藤 杏 樹	100m	1
			立幅跳	2
水泳	川崎町	小 山 弘 子	25mバタフライ	1
			50m自由形	1
卓球	松島町	内 海 幸	一般卓球	2
	岩沼市	三 澤 叶 夢	一般卓球	2
	石巻市	南 伸 子	STT	3
FD	美里町	石 川 芳 民	ディスリート5	3
			ディスタンス	—
	柴田町	大 坂 一 樹	ディスリート5	—
			ディスタンス	—
大和町	高 橋 公 太	ディスリート5	—	
		ディスタンス	—	

(敬称略)



女性部会  
レクリエーション交流会を開催

平成30年9月27日に宮城県障害者総合体育センターを会場に女性部会主催のレクリエーション交流会を開催したところ、17名の参加をいただきました。

今回の参加者は、卓球バレーも風船バレーも初めて経験する人が殆どでしたが、ルールや要領を掴むのに、さほど時間もかからず、皆さん笑顔で楽しんでいました。今回の経験をきっかけに、地元で開催する事業や交流会の時には、気軽にとり組めるレクリエーションとして取り上げていただければ幸いです。



和気あいあいの楽しい交流会でした

平成30年度  
第2回 市町村協协会会长等会議の開催

「今年度2回目となる標記会議を平成30年10月31日に宮城県障害者福祉センターで開催いたしました。

2019年5月に秋田県で開催する「日本身体障害者福祉大会への参加協力」をはじめ、「北海道胆振東部地震への支援金の協力」、「ヘルプマークの配布」、「2020東京パラリンピックの応援ツアー」について意見交換をおこないました。

市町村協会の状況

平成30年度の状況報告の集計結果を報告いたします。

○平成30年度の会員総数3,951名  
(免除者除く分担金納付数3,811名)  
前年度から415名(同398名)の減少です。ここ数年における各市町村協会の課題は、会員減少と高齢化に尽きています。

○平成30年度に5市町村協会で新会長の就任がありました。

- ・石巻市 秋山 喜弘 氏
- ・気仙沼市 及川 啓 氏
- ・村田町 眞壁恵美男 氏
- ・松島町 奥山 勝夫 氏
- ・大郷町 寺嶋つな子 氏

第64回  
宮城県社会福祉大会を開催

本会を含む福祉関係7団体の主催による標記大会を平成30年11月7日に仙台サンプラザホールを会場に開催いたしました。

第一部式典では本会の協会長表彰を10名1団体、感謝状を4名に授与いたしました。受賞者の皆様、誠にありがとうございました。

第二部の記念講演では、全盲のピアニスト辻井伸行氏の母で元フリースタイルダンサーの辻井いつ子氏から、「明るく、楽しく、あきらめない」をモットーに手探りで取り組んだ子育てが語られ、会場の共感を博しました。

閉会では本会の森会長が万歳三唱を担当して大会を締めました。



多数のご来賓、受賞者、主催者が勢揃いして開会

平成30年度  
協会長被表彰者

【身体障害者福祉事業奉仕者】2名

関 雄三様(塩釜市)

佐野君代様(富谷市)

【更生援護功労者】7名

菅原恵子様(栗原市)

石川ときを様(栗原市)

相澤和男様(富谷市)

横田古彰様(柴田町)

島田信二様(女川町)

丹野 進様(女川町)

小野耕平様(蔵王町)

【自立更生者】1名

杉目一枝様(大崎市)

【優良団体】1団体

石巻市身体障害者福祉協会様

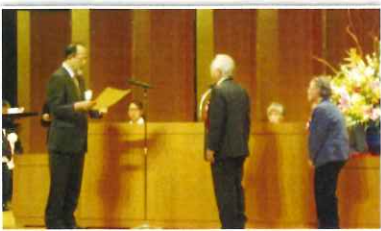
【内助功績者】4名

佐藤米子様(大崎市)

川合忠男様(大崎市)

小野喜美子様(大崎市)

小野栄子様(蔵王町)



受賞者代表の蔵王町小野耕平様、小野栄子様



社会参加推進センター事業

第33回「障害者による書道・写真全国コンテスト」宮城県大会

標記大会は、障害者の文化・芸術活動の促進と、障害者週間における啓発活動の一環として開催されており、今年は102点の作品が集まりました。

(書道部門91点、写真部門11点) 下記の日程で県内2ヶ所にて応募作品展を開催し、多くの方の目にふれる機会となりました。

全国コンテスト 金賞

「撃」 青山良子 様 (塩竈市)



全国コンテスト 銀賞

「寿」 南條瑛子様 (栗原市)



◎応募作品展

【大崎市民ギャラリー 緒絶の館】 11月14日(水)～11月19日(月)

【宮城県庁】 12月3日(月)～12月7日(金)

また、宮城県大会の優秀作品12点を全国コンテストに出品したところ、書道部門で上記の2作品が入賞されました。

誠にありがとうございます。

※最近写真の応募が低調ですので、次年度は奮って応募をいただきたくお願いいたします。

法人名称の変更について

身障みやぎ第108号でもお知らせしていますが、法人の名称変更の作業を進めています。

9月の理事会で審議後、10月の評議員会で審議を得ました。それに基づき、12月の理事会で再審議をおこない、現在は評議員会の承認を得るための作業中です。その後仙台市長の認可を経て、公表に至る予定です。

県協会の名称が変更になっても、各市町村協会の名称に関しては、各協会の任意とする方針です。

災害の支援金について

平成30年に国内各地で発生した災害に対して、支援金のご協力をいただきましたことに感謝を申し上げます。

寄せられた市町村協会の支援金に県協会分を合わせて、日本身体障害者団体連合会(日身連)に左記の通り送金いたしました。

全国からの支援金と合わせて被災地に届けられます。

(1)西日本豪雨災害の支援金

総額662,016円 (平成30年9/10・10/5送金)

A県内21市町村協会分

計362,016円

B県協会分

計300,000円

(2)北海道胆振東部地震の支援金

総額308,092円 (平成30年12/19送金)

A県内11市町村協会分

計158,092円

B県協会分

計150,000円

ご協力に感謝を申し上げます。

県協会事務局長の交代

前任者 庄子 賢

(平成30年9月30日退任)

後任者 山崎嘉子

(平成30年10月1日就任)

新年度事業のお知らせ

次年度の事業計画に組み入れていただきますようお願いいたします。次年度は西暦で表記します。

○「市町村協会会長会議」

第1回 2019年4月26日(金)

第2回 2019年10月予定

○「レクリエーション交流会」

2019年9月予定

○「第65回宮城県社会福祉大会」

2019年11月初旬予定

次年度の日本身体障害者福祉大会は秋田県で開催されます。これを応援するため、多数の会員のご参加をお願いいたします。

これにより「宮城県身体障害者福祉大会」の開催は見送らせていただきます。併せて、県協会会長表彰は「第65回宮城県社会福祉大会」にて授与する予定です。ご理解をお願い申し上げます。各事業の案内は、各市町村協会長に別途に送付いたします。



近年は大規模な自然災害が各地で発生してあります。東日本大

震災の教訓を生かして備えは万全に！、穏やかな一年でありますように！

身障みやぎ第109号 正誤表

下記の誤りにつきまして、お詫び申し上げますとともに、訂正させていただきます。

P3 最下段 写真の説明文

誤：受賞者代表の村田町小野耕平様、小野栄子様

正：受賞者代表の蔵王町小野耕平様、小野栄子様